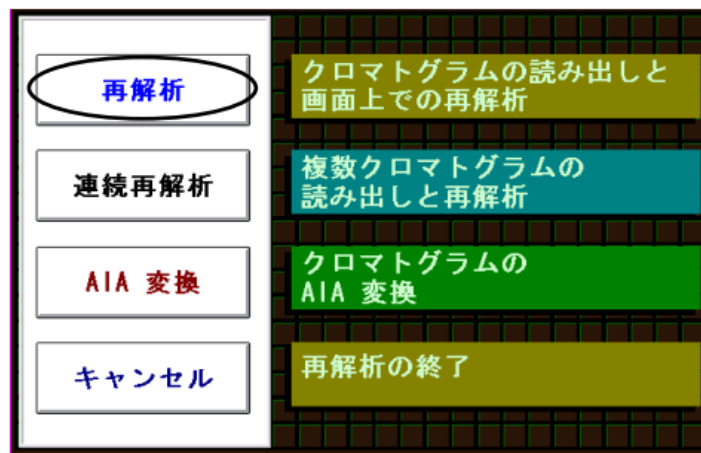


3 再解析

予め解析済みのクロマトデータを、データ処理パラメータ変更により処理方法を変えたり、レポートパラメータによりレポート印刷内容を変更したりする事が可能です。

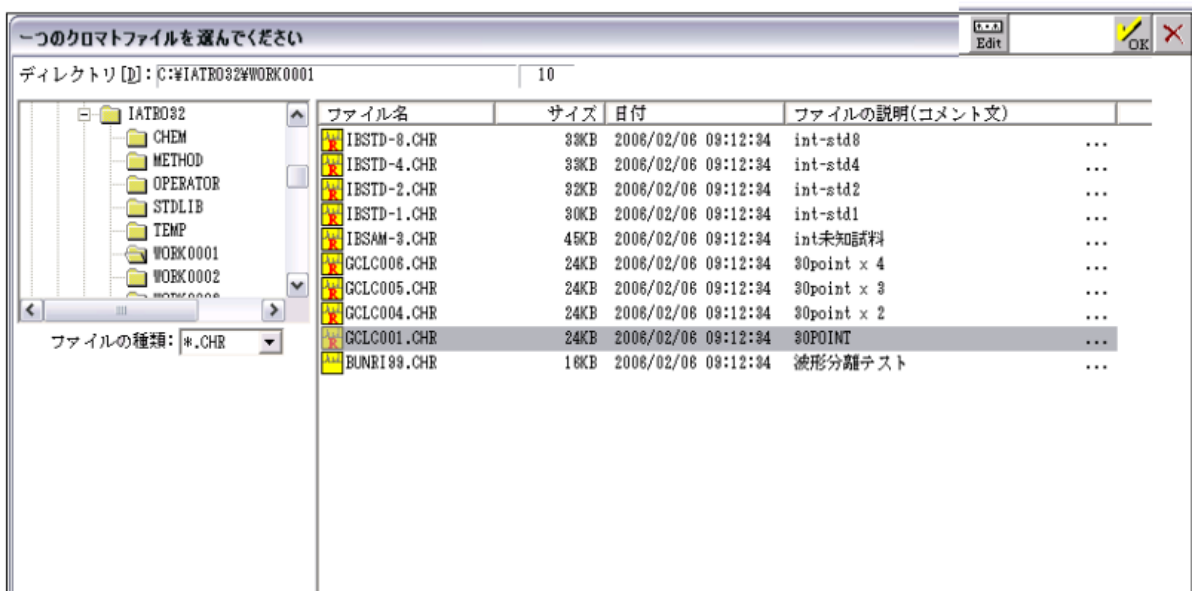
3-1 クロマトグラムを選択

メインメニュー画面の【再解析】アイコンをクリックしますと、図3-1の画面が表示されます。



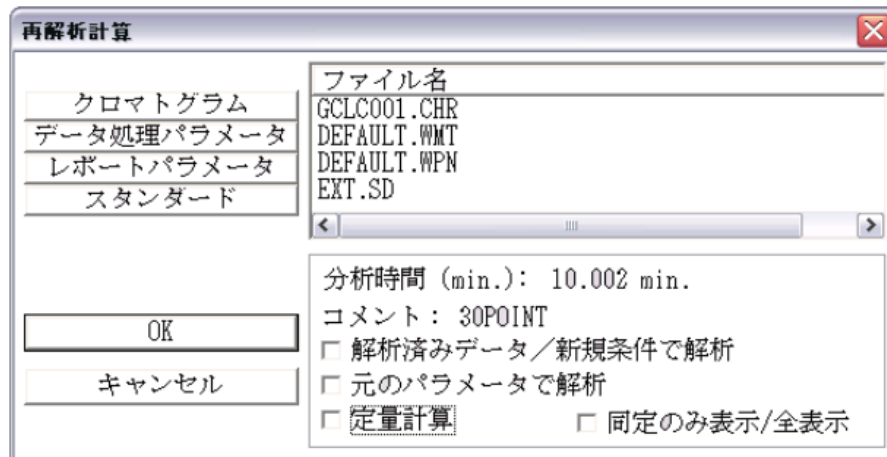
(図3-1)

図3-1の画面で、【再解析】アイコンをクリックしますと図3-2の画面が表示されます。



(図3-2)

ここで任意のクロマトファイル名を選択し、画面右上の【OK】アイコンをクリックしますと図3-3の画面が表示されます。

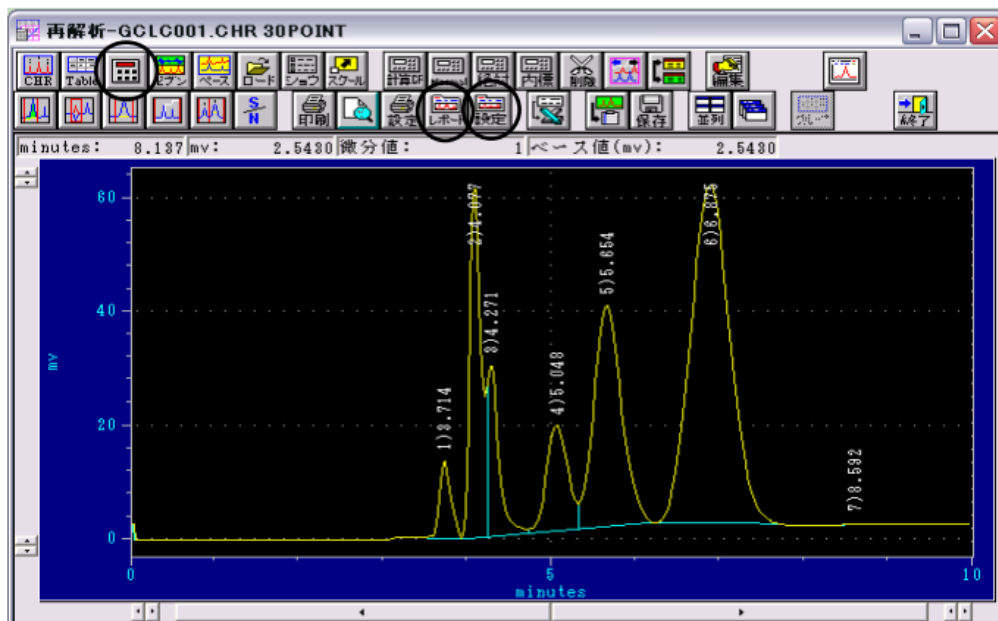


(図3-3)

右下枠内の設定を変更すると表示されるクロマトグラフが異なります。



- 1) 新規条件で表示したい場合 : すべての項目をチェックしない
- 2) 強制処理を含めた前回の解析結果を表示する場合 : 「 解析済みデータ」をチェック
- 3) 前回解析したデータ処理パラメータを使用する場合 : 「 元のパラメータで解析」をチェック

ここで【OK】アイコンをクリックしますと、任意に選択された各パラメータによる解析結果が画面に表示されます(図3-4)。



(図3-4)

解析結果内容(レポート内容、波形処理、ベースライン処理等)を変更する場合、図2-4画面上の(○印)【データ処理パラメータ設定】アイコン及び【レポートパラメータ設定】アイコンを操作(パラメータ変更等)する事により可能です。

-  : データ処理パラメータ設定 (詳細は取扱説明書5-1頁~を参照)
-  : レポートパラメータ設定 (詳細は取扱説明書5-5頁~を参照)

3-2 データ処理パラメータの変更及びレポート出力例

メインメニュー画面の【パラメータ1】アイコンをクリックしますと図3-5の画面が表示されます。

 No. Below the parameters is a blue text box with instructions: 'アップスロープ/ダウンスロープ(1-9999)を入力し、[ENTER]キーを押してください。スロープとはノイズやベースラインドリフトによって影響される信号の開始点(最初の変曲点)を意味します。一般的にはノイズが少なく、高感度分析を行う場合は1-3を、ノイズが多い場合は6-9999を設定して下さい。アップスロープはピークの開始点を、ダウンスロープはピークの終了点を決定します。' At the bottom, it shows 'メソッド = C:\¥SIC32¥METHOD¥aaa.WMT'."/>

(図3-5)

波形認識を変更する場合はアップスロープ、ダウンスロープ、最小ピーク幅、最小ピーク面積等を、ベースラインを変更する場合はベース感度・付加パラメータ等を変えて下さい。(取扱説明書“5-1 パラメータ1の設定”を参照。)

パラメータの再設定が完了しましたら、画面左上の【新規保存】アイコンでファイル名を入力して登録後【続行/保存】アイコンにて再解析画面(図3-4)に戻ります。

→ 変更されたパラメータによる解析(波形処理)結果が表示されます。

再解析画面(図3-4)上の【レポート】→【印刷】アイコンの順にクリックしますとレポートを出力します。

図2-5のレポート結果に対し、図3-5の“[3] ベース感度(1-30)ポイント”項のパラメータを“1”(谷渡りベース処理)に変更して解析した結果のレポート例を次頁(図3-6)に示します。

3-3 レポートパラメータの変更及びレポート出力例

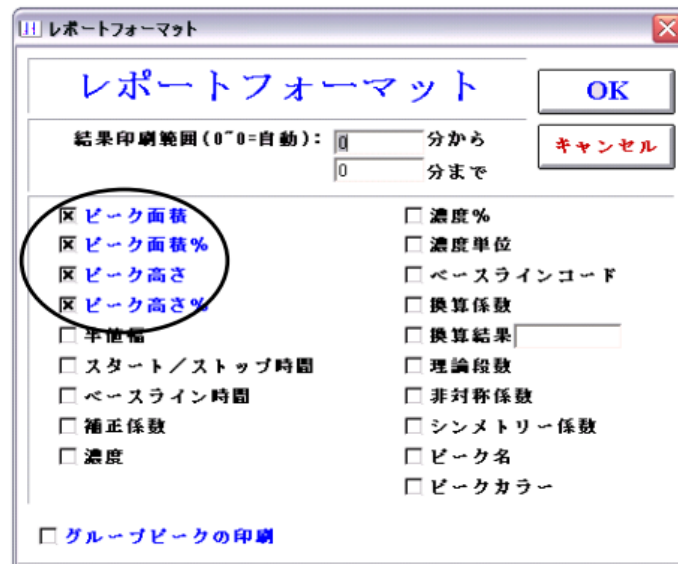
メインメニュー画面の【パラメーター2】アイコンをクリックしますと、図3-7の画面が表示されます。



(図3-7)

□計算結果プリント

計算結果の印字項目を変更する場合、“□ 計算結果プリント”項目左の【編集】アイコンをクリックします。図3-8の画面が表示されますので必要な項目を選択し、【OK】アイコンで登録して下さい。(□内が×状態でレポートに印字されます。)

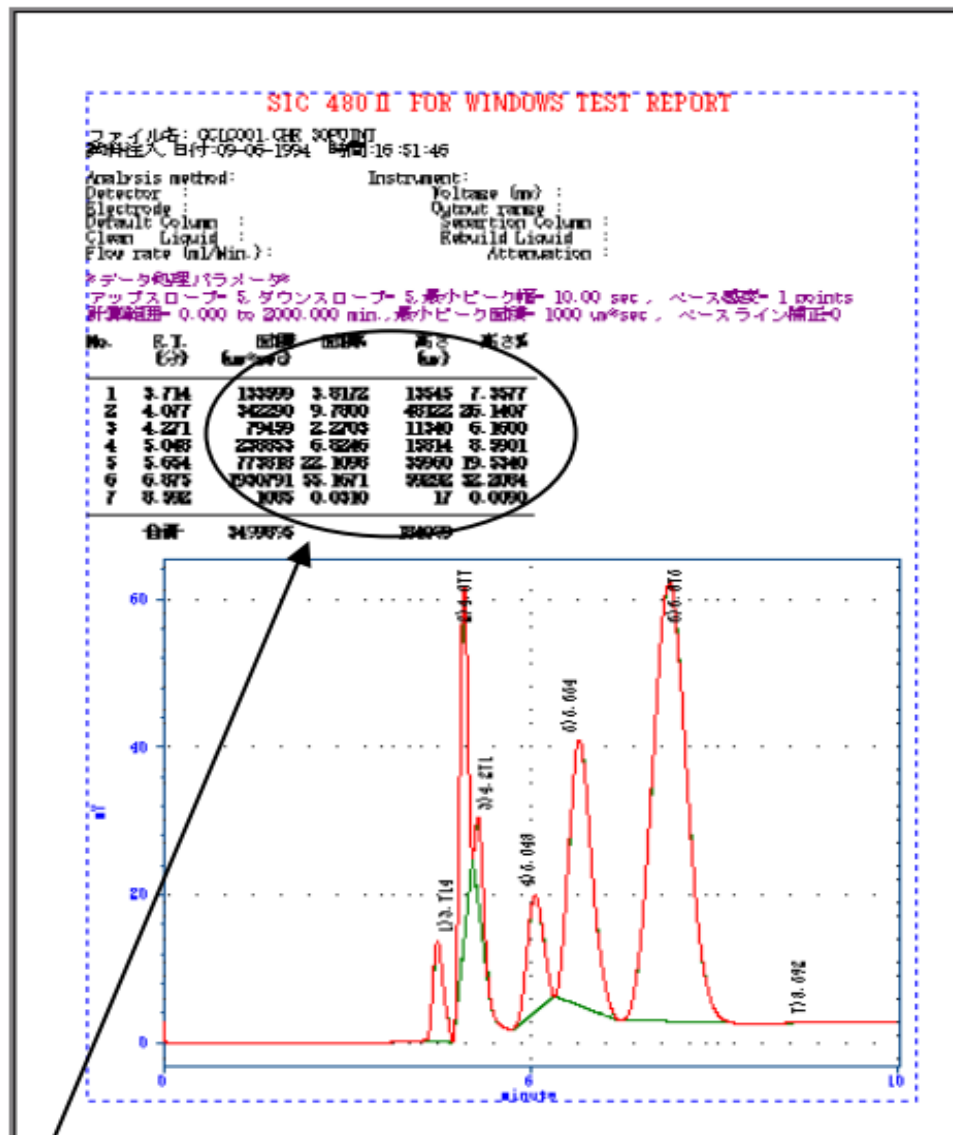


(図3-8)

□ クロマトグラムのプリント

クロマトグラムの印字項目や印字サイズ等を変更する場合、図3-7の画面にて“□ クロマトグラムのプリント”項目左の【編集】アイコンをクリックします。画面下のピーク表示とクロマトグラム印刷条件の各項目の設定が可能となりますので各々任意の設定を行い【戻る】→【新規保存】アイコンでファイル名を入力して登録後【続行/保存】アイコンにて再解析画面に戻ります。(詳細は、取扱説明書“5-2 パラメータ2の設定”を参照して下さい。)

図3-6のレポート結果に対し、図3-8の“レポートフォーマット”の印字項目を面積、面積百分率及び高さ、高さ百分率の4項目に変更して解析した結果のレポート例を図3-9に示します。[R. T. (分)は常時印字されます。]



面積及び高さ関係の4項目を印字

(図3-9)

尚、定量計算等詳細につきましては別冊の取扱説明書及び簡易操作マニュアルを参照願います。